

YAMAHA PortaSound PSS-450

取扱説明書



ごあいさつ

このたびは、ポータサウンドPSS-450をお買い上げいただきましてありがとうございます。

PSS-450は、楽器づくりの経験ゆたかなヤマハが、最新の電子技術を駆使してつくりあげた鍵盤楽器です。

豊富な音色とリズム。どなたでも簡単に演奏が楽しめるオートベースコード。そして、さまざまな効果やフィルインなど、多彩な機能を装備。さらに、弾きごたえのある49鍵の音域、優れた音質など、コンパクトでありながら豊かな音楽表現力をもっています。

本書では、PSS-450の魅力を充分ご活用いただけるよう、正しい取扱い方を説明しています。実際に操作しながら、ぜひご一読ください。

もくじ

	ページ
ご使用の前に	1
各部の名称とそのはたらき	2
オーケストラ	4
リズム	5
オートベースコード1〈シングルフィンガーコード〉	6
オートベースコード2〈フィンガードコード〉	8
コード早見表〈シングルフィンガーコード〉	9
〈フィンガードコード〉	10
楽譜のよみ方	12
楽譜1 絲綢之路(シルクロードのテーマ)	13
楽譜2 イン・ザ・ムード	14
楽譜3 ワインレッドの心	15
楽譜4 マイ・ウェイ	16
故障と誤まりやすい現象	18
付属端子とオプション	19
仕様	20
アフターサービスと保証	21

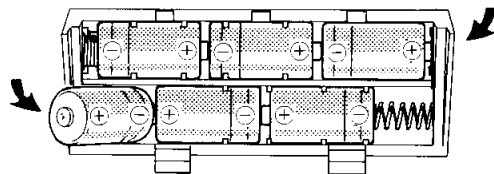
ご使用の前に

ながくお楽しみいただくために、次の点にご注意ください。

電源について

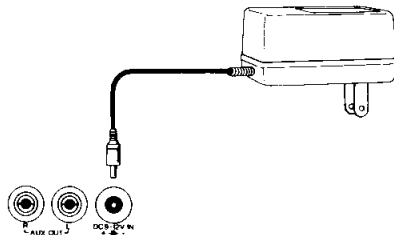
PSS-450の電源は、電池と家庭用コンセントの両方を使用することができます。家庭用コンセントを使用する時は、別売の専用アダプター(PA-1)を接続してください。

●電池の入れ方



まず、本体裏面にあるケースのふたをとりず。単2の乾電池を2列に6個入れます。このとき⊕⊖の方向をまちがえないようご注意ください。パワースイッチを入れたとき、スイッチの横のパイロットランプが常時点滅していたら、電池がなくなりはじめています。すべての電池を交換してください。

●電源アダプター(PA-1)の接続方法



PSS-450の本体背面には、図のような付属端子がついています。電源アダプターのPA-1は、AC100V(家庭用コンセント)から、DC12Vを取り出す電圧変換器ですから、付属端子の一番右側にある[DC9-12V IN]へ接続して電源を供給してください。

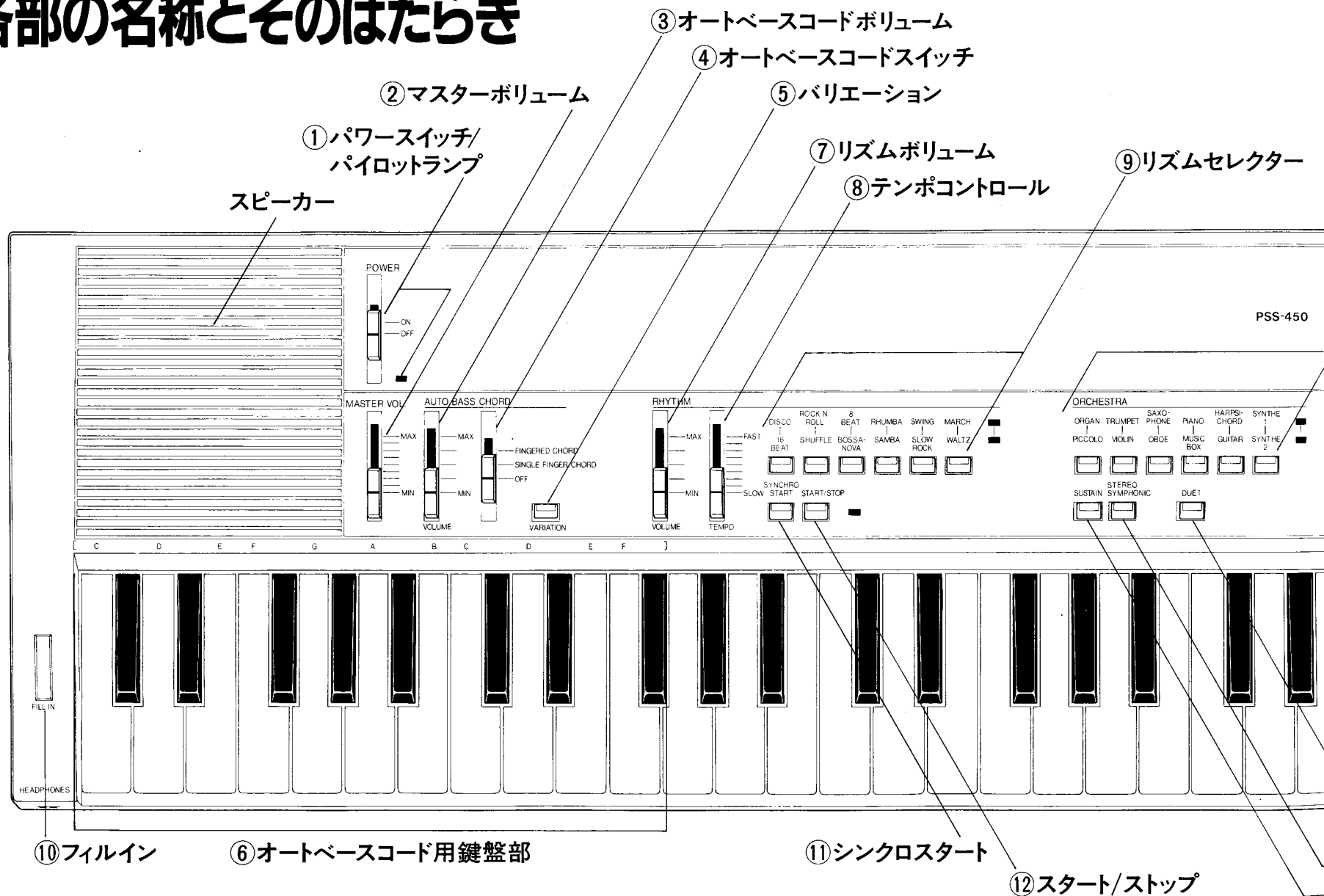
★PA-1以外のアダプターは使用しないで下さい。

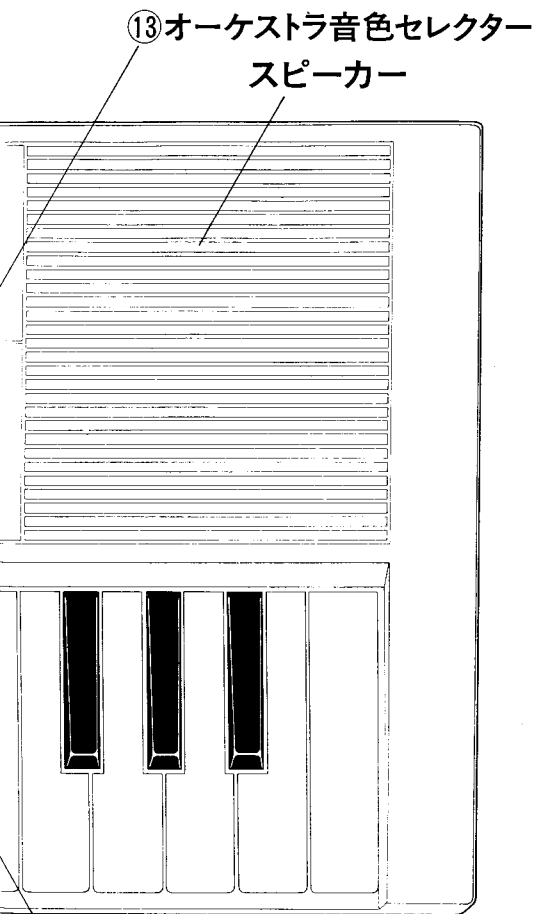
取扱上の注意

- ①極端に温度が高い場所(60℃以上)に置いておくと本体の外側や内部に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。暖房器具のそばに置いたり、日中、車内に長時間放置しておくことはさけてください。車の窓を閉めきっているとき、直射日光が当たっていると、車内の温度は80℃以上にもなります。
- ②特に湿気が多い場所に置くことはさけてください。
- ③過度な衝撃や無理な力を加えると、傷がついたり、故障の原因となることがあります。本体を落としたり、上に座ったりしないように注意してください。
- ④本体のお手入れは、乾いた布でカラぶきをするか、よこれのひどい時は少し水で湿らせた布でふいてください。アルコールやシンナー類は、絶対に使用しないでください。また、塩ビ系のものを長時間置くと、くっつく場合があります。
- ⑤ご使用後は必ず電源スイッチを切ってください。電源が入ったまま長時間放置しておくと、故障の原因となることがあります。また、長い間使わないときは、電池を本体からぬいておいてください。電源アダプターも、使わないときは、プラグをぬいておいてください。



各部の名称とそのはたらき





⑬ オーケストラ音色セレクター

スピーカー

⑬ オーケストラ音色セレクター

⑬ オーケストラ音色セレクター

⑬ オーケストラ音色セレクター

① パワースイッチ/パイロットランプ (4ページ)

電源を入れるスイッチです。パイロットランプが点灯すれば、電気が通じています。

② マスターボリューム (4ページ)

全体の音量を調節するレバーです。上へ動かすと、大きくなります。

③ オートベースコード ボリューム (6~8ページ)

自動伴奏の音量を調節するレバーです。上へ動かすと、大きくなります。

④ オートベースコードスイッチ (6~8ページ)

自動伴奏をする時、指1本のシングルフィンガーコードか、和音をおさえるフィンガードコードを選ぶスイッチです。自動伴奏を使わないときは、OFFにします。

⑤ バリエーション (6~8ページ)

このボタンをおすと、自動伴奏のパターンが変化します。

⑥ オートベースコード用鍵盤部 (6~8ページ)

自動伴奏を使って演奏するとき、伴奏を受けもつ鍵盤です。

⑦ リズムボリューム (5ページ)

リズムの音量を調節するレバーです。上へ動かすと、大きくなります。

⑧ テンポコントロール (5ページ)

リズムの速さを調節するレバーです。上へ動かすと速くなります。

⑨ リズムセレクター (5ページ)

リズムの種類を選ぶボタンです。同じボタンをもう一度おせば、上下反対がわのリズムになり、右ハジのランプが上か下かを示します。

⑩ フィルイン (5ページ)

このボタンをおすと、一時的にリズムが変化します。

⑪ シンクロスタート (5ページ)

オートベースコード用鍵盤をおすと同時にリズムをスタートさせるボタンです。

⑫ スタート/ストップ (5ページ)

リズムをスタートさせるボタンです。もう一度おすとリズムがとまります。

⑬ オーケストラ音色セレクター (4ページ)

音色を選ぶボタンです。同じボタンをもう一度おせば、上下反対がわの音色になり、右ハジのランプが上か下かを示します。

⑭ サステイン (4ページ)

オーケストラ音色に自然な余韻をつけるボタンです。

⑮ ステレオシンフォニック (4ページ)

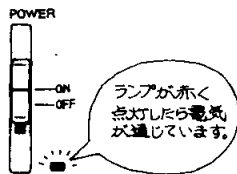
モノラル↔ステレオの切り換えスイッチで、ボタンをおすと広がりのある音が得られます。

⑯ デュエット (4ページ)

オートベースコードを使っている時、このボタンをおすとコード音のなかの1音が、自動的にメロディー演奏に加わり、厚みのある重音演奏ができます。

オーケストラ

① パワースイッチをON。

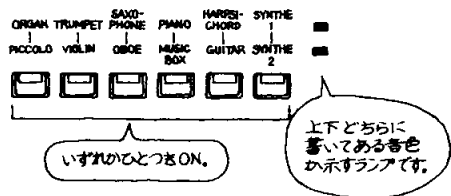


② 鍵盤をおさえてみましょう。

オルガンの音がでたでしょう?

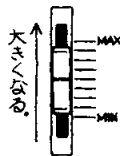
パワーをONした時は、つねにオルガンの音色がでます。

③ 音色セレクターから好きな音色をひとつ選びます。



同じボタンをもう1度おせば、下の音色になります。右はじのランプで、上下どちらの音色か確認しましょう。

④ マスターボリュームで音の大きさを調節。



⑤ 鍵盤をおさえてみましょう。

今度は選んだ音色がでたと思います。音色をかえて、いろいろなメロディーを弾いてみましょう。



⑥ 効果を加えてみましょう。

サステイン

サステインは、音に自然な余韻をつける効果です。このボタンをおすと、鍵盤から指を離れたあとも音が残って自然に消えていくようになります。



★オーケストラ音色には大きく分けて2種類あります。

持続音	オルガン トランペット サクソフォン シンセ2 ピッコロ バイオリン オーボエ
減す音	ピアノ ハープシコード シンセ1 ミュージックボックス ギター

★ミュージックボックスにはあらかじめサステイン効果がかかっていますので、サステインボタンをおしても効果は変わりません。

ステレオシンフォニック

このボタンをおすと、音がゆっくりとうねり、広がりのある響きになります。



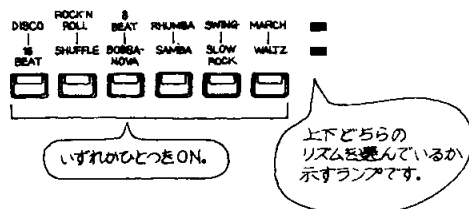
デュエット

オートベースコード(P6~P8参照)を使用している時、このボタンをおすと、メロディー演奏にコード音の中の1音が自動的に加わり、厚みのある演奏ができます。



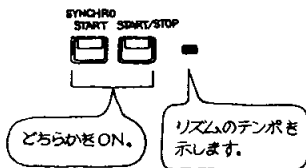
リズム

①リズムセレクトから、リズムをひとつ選びます。



★ワルツは3拍子、そのほかのリズムは4拍子です。

②スタート/ストップ、シンクロスタートどちらかをON。



<スタート/ストップ>

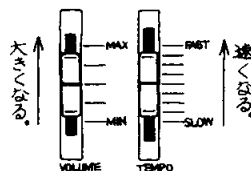
ボタンをおすと同時に、選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。もう1度おすとリズムが止まります。

<シンクロスタート>

このボタンをおすと演奏スタンバイの状態となり、オートベースコード用鍵盤(C1~F2[#])をおすと同時に選んだリズムが第1拍目から鳴りはじめます。赤いランプでテンポを確認して、メロディーとリズムを同時にスタートさせることができます。もう1度おすとリズムが止まり、再び演奏スタンバイ状態にもどります。ブレイクなどの時に便利です。

③リズムボリュームでリズム音の大きさを調節。

④テンポレバーでリズムの速さを調節。



●テンポランプ

テンポランプはリズムがスタートしているとき、次のように点灯し、リズムのテンポと、何拍目であるかを確認することができます。

1拍目—— 明るく点灯 2拍目—— 暗く点灯
3拍目—— 明るく点灯 4拍目—— 消灯

ワルツの場合は1拍目(明るく)、2拍目(暗く)、3拍目(消灯)となります。

★シンクロスタートをONして、まだリズムをスタートしていないときは、1拍ごとに点灯します。

⑤リズムに合わせてメロディーを。

リズムをつけてメロディーを弾いてみましょう。リズムにのりにくいときは、テンポランプを見ながら、「1、2、3、4」と頭の中で数えて弾くとうまくいきます。

⑥フィルインで、リズムに変化を。



メロディーの切れ目など必要な時にフィルインをおすと、その小節の終わりまで変則的なリズムに変わります。

★フィルインをおし続けると変則的なリズムが長く続きます。

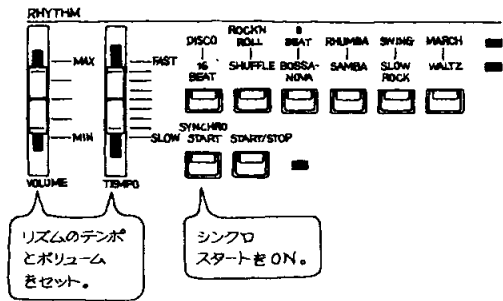
★フィルインのパターンは選んだリズムやバリエーションによって変化します。

★フィルインで曲をスタートさせることもできます。シンクロスタートをONし、フィルインをおせば変則的なリズムでスタートし、2小節目からふつうのリズムにもどります。

オートベースコード1 シングルフィンガーコード

シングルフィンガーコードを使えば、指1本で鍵盤をおさえるだけで、和音とベース音による伴奏がリズムによってできます。

①リズムをセットします。(5ページ参照)



③オートベースコードボリュームのレバーを調節。



★マスターボリュームが最小(MIN)の状態では、ごく小さな音しかできません。

★鍵盤から指を離れたあとも同じ伴奏がくり返されます。

コードが変わるときだけ鍵盤をおしてください。

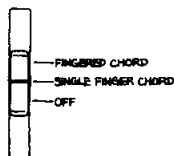
⑤バリエーションで変化をつけてみましょう。



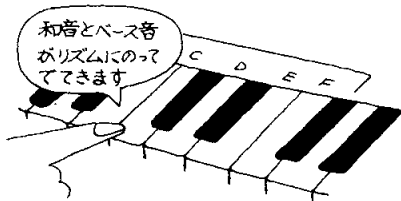
バリエーションをONすると、コードとベースのパターンが変化します。演奏する曲によって使いわけてください。

②オートベースコードスイッチを

シングルフィンガーコードにします。



④オートベースコード用鍵盤をひとつおさえます。



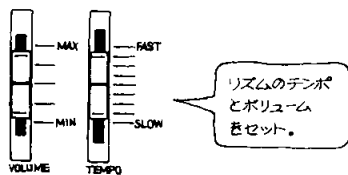
オートベースコード用鍵盤をおすと同時に和音とベース音による伴奏がリズムによってできます。

オブラディ・オブラダ J. Lennon & P. MacCartney 作曲

それでは、曲を弾いてみましょう

曲は「オブラディ・オブラダ」。

音色はオルガン、リズムはディスコを選び、バリエーションをON。シンクロスタートをおして演奏をはじめましょう。



★コードを変えるところで、指を鍵盤から離さないで動かすと、コードが変わらないことがあります。いったん鍵盤から指を離すようにしてください。

★オートベースコードの音色は、オーケストラで選んだ音色と関係ありません。

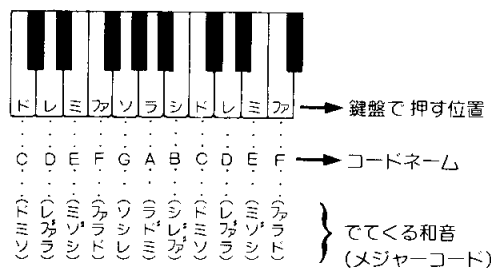
★オートベースコードを使っている時、メロディー部では同時に3音までしかならせません。

★コードのおさえ方



シングルフィンガーコードについて

次の図は、オートベースコード用鍵盤をおす位置と、でてくる和音の関係を示したものです。



♯、♭のついているコードのだし方

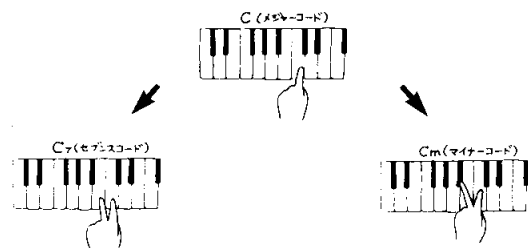
メジャーコード(例えば[C]や[F]など)の中には、[F♯]や[B♯]のように♯(シャープ)や♭(フラット)のついているものがあります。この♯、♭は、音符についている場合と同じように、半音上げる(♯)、半音下げる(♭)ように指示する記号です。



♯がついていたら、上の図で説明した位置の右上の黒鍵、♭がついていたら左上の黒鍵をおせば、♯・♭のついたコードがだせます。

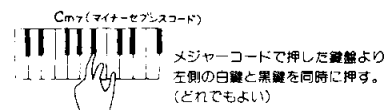
セブンスコード、マイナーコードのだし方

アルファベット1文字のコード(C、Dなど)をメジャーコードといいます。伴奏はメジャーコードだけでは限りません。例えば[G7]のようなセブンスコード、[Am]のようなマイナーコードもよく使われます。これらも、下図のように、2つの鍵盤を同時におすことでだすことができます。



メジャーコードで押した鍵盤より左側の白鍵を同時に押す。(どれでもよい)

メジャーコードで押した鍵盤より左側の黒鍵を同時に押す。(どれでもよい)

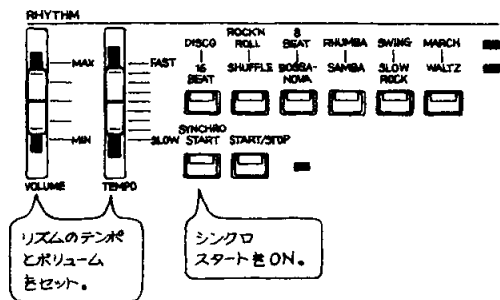


メジャーコードで押した鍵盤より左側の白鍵と黒鍵を同時に押す。(どれでもよい)

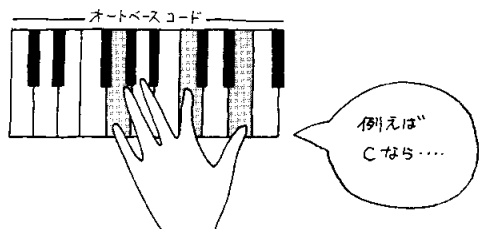
オートベースコード2フィンガードコード

フィンガードコードは、自分で和音をおさえて自動伴奏をする機能です。
シングルフィンガーコードより表現の幅が広がります。

①リズムをセットします。(5ページ参照)



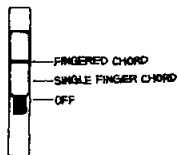
④オートベースコード用鍵盤で和音をおさえます。



オートベースコード用鍵盤をおすと同時に和音とベース音による伴奏がリズムにのってでできます。

- ★鍵盤から指を離れたあとも同じ伴奏がくり返されます。コードが変わるときだけ鍵盤をおしてください。
- ★コードを変えるところで、指を鍵盤から離さないで動かすと、コードが変わらないことがあります。いったん鍵盤から指を離すようにしてください。
- ★オートベースコードの音色は、オーケストラで選んだ音色と関係ありません。
- ★オートベースコードを使っている時、メロディー部では同時に3音までしかならせません。

②オートベースコードスイッチをフィンガードコードにします。



③オートベースコードボリュームのレバーを調節。



★マスターボリュームが最小(MIN)の状態では、ごく小さな音しかできません。


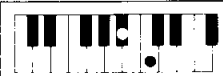



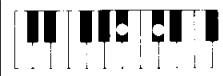
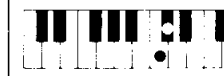





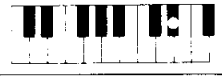

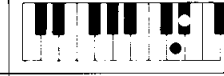
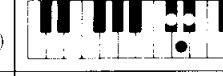
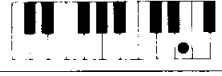
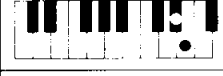
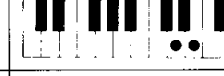

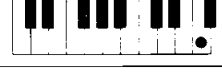
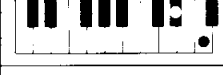
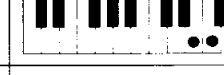
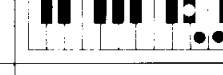


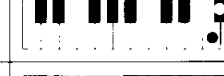



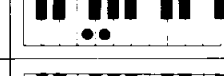


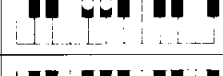



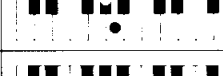



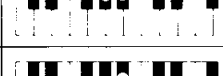






⑤バリエーションで変化をつけてみましょう。






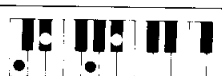






















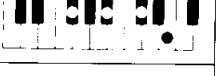







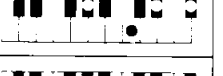







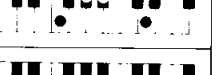




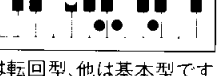
バリエーションをONすると、コードとベースのパターンが変化します。演奏する曲によって使いわけてください。

コード早見表

シングルフィンガーコード

メジャーコード		マイナーコード		セブンスコード		マイナーセブンスコード	
C		Cm		C7		Cm7	
D [♯] (C [♯])		D [♯] m (C [♯] m)		D [♯] 7 (C [♯] 7)		D [♯] m7 (C [♯] m7)	
D		Dm		D7		Dm7	
E [♯] (D [♯])		E [♯] m (D [♯] m)		E [♯] 7 (D [♯] 7)		E [♯] m7 (D [♯] m7)	
E		Em		E7		Em7	
F		Fm		F7		Fm7	
F [♯] (G [♯])		F [♯] m (G [♯] m)		F [♯] 7 (G [♯] 7)		F [♯] m7 (G [♯] m7)	
G		Gm		G7		Gm7	
A [♯] (G [♯])		A [♯] m (G [♯] m)		A [♯] 7 (G [♯] 7)		A [♯] m7 (G [♯] m7)	
A		Am		A7		Am7	
B [♯] (A [♯])		B [♯] m (A [♯] m)		B [♯] 7 (A [♯] 7)		B [♯] m7 (A [♯] m7)	
B		Bm		B7		Bm7	

フィンガードコード

メジャーコード		マイナーコード		セブンスコード		マイナーセブンスコード	
C		Cm		C7		Cm7	
D [♯] (C [♯])		D [♯] m (C [♯] m)		D [♯] 7 (C [♯] 7)		D [♯] m7 (C [♯] m7)	
D		Dm		D7		Dm7	
E [♯] (D [♯])		E [♯] m (D [♯] m)		E [♯] 7 (D [♯] 7)		E [♯] m7 (D [♯] m7)	
E		Em		E7		Em7	
F		Fm		F7		Fm7	
F [♯] (G [♯])		F [♯] m (G [♯] m)		F [♯] 7 (G [♯] 7)		F [♯] m7 (G [♯] m7)	
G		Gm		G7		Gm7	
A [♯] (G [♯])		A [♯] m (G [♯] m)		A [♯] 7 (G [♯] 7)		A [♯] m7 (G [♯] m7)	
A		Am		* A7		* Am7	
B [♯] (A [♯])		B [♯] m (A [♯] m)		* B [♯] 7 (A [♯] 7)		* B [♯] m7 (A [♯] m7)	
B		Bm		* B7		* Bm7	

*は転回型、他は基本型です

メジャーセブンスコード

Cmaj7	
D [♭] maj7 (C [♯] maj7)	
Dmaj7	
E [♭] maj7 (D [♯] maj7)	
Emaj7	
Fmaj7	
F [♯] maj7 (G [♯] maj7)	
Gmaj7	
* A [♭] maj7 (G [♯] maj7)	
* Amaj7	
* B [♭] maj7 (A [♯] maj7)	
* Bmaj7	

ディミニッシュコード

Cdim	
D [♭] dim (C [♯] dim)	
Ddim	
E [♭] dim (D [♯] dim)	
Edim	
Fdim	
F [♯] dim (G [♯] dim)	
Gdim	
* A [♭] dim (G [♯] dim)	
* Adim	
* B [♭] dim (A [♯] dim)	
* Bdim	

オーグメントコード

Caug	
D [♭] aug (C [♯] aug)	
Daug	
E [♭] aug (D [♯] aug)	
Eaug	
Faug	
F [♯] aug (G [♯] aug)	
Gaug	
* A [♭] aug (G [♯] aug)	
* Aaug	
* B [♭] aug (A [♯] aug)	
* Baug	

マイナーセブンス
フラットディッドフィフスコード

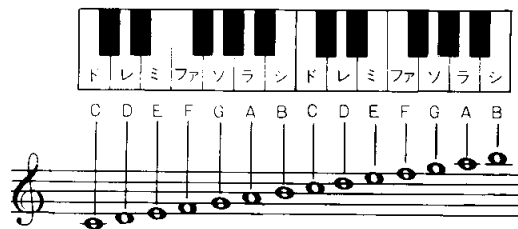
Cm7 ⁻⁵	
D [♭] m7 ⁻⁵ (C [♯] m7 ⁻⁵)	
Dm7 ⁻⁵	
E [♭] m7 ⁻⁵ (D [♯] m7 ⁻⁵)	
Em7 ⁻⁵	
Fm7 ⁻⁵	
F [♯] m7 ⁻⁵ (G [♯] m7 ⁻⁵)	
Gm7 ⁻⁵	
* A [♭] m7 ⁻⁵ (G [♯] m7 ⁻⁵)	
* Am7 ⁻⁵	
* B [♭] m7 ⁻⁵ (A [♯] m7 ⁻⁵)	
* Bm7 ⁻⁵	

*は転回型、他は基本型です

楽譜のよみ方

●五線譜のよみかた

はじめに、鍵盤と五線譜の関係を示してみると……



■音符と休符の長さ

音符の種類と名称	4分音符と比較した長さ	休符の種類と名称	4分音符と比較した長さ
○ 全音符	● ● ● ● 4つ分のばす	— 全体符	♪♪♪♪ 4つ分休む
○ 付点2分音符	● ● ● 3つ分のばす	— 付点2分休符	♪♪♪ 3つ分休む
○ 2分音符	● ● 2つ分のばす	— 2分休符	♪♪ 2つ分休む
○ 4分音符	● 4分音符	♪ 4分休符	♪ 4分休符
○ 8分音符	♪ (♪♪ = ○) 半分にする	♪ 8分休符	♪ (♪♪ = ♪) 半分休む
○ 16分音符	♪♪ (♪♪♪♪ = ○) 4等分する	♪ 16分休符	♪ (♪♪♪♪ = ♪) 4等分する
○ 3連音符	♪♪♪ 3等分する		

(.♪♪♪ は♪を3等分)

■記号を覚えましょう

記号とよみ方	意味
# シャープ	半音あげる
b フラット	半音さげる
♮ ナチュラル	もとの音にもどす
♪ タイ	音を続ける
スラー	なめらかに
フェルマータ	その音をのばす
Tacet タセット	伴奏を休む
Fine フィーネ	おわり

記号とよみ方	意味
リビート	くりかえし
1番かっこ 2番かっこ	くりかえしのあと「?」へ
D.C. タカーボ	最初からくりかえし。 Fine D.C.
D.S. ダルセーニョ	記号♯からくりかえし。 Fine D.S.
♯ Coda コーダ	くりかえしのあと♯Codaへ

絲綢之路(シルクロードのテーマ)

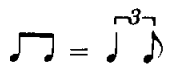
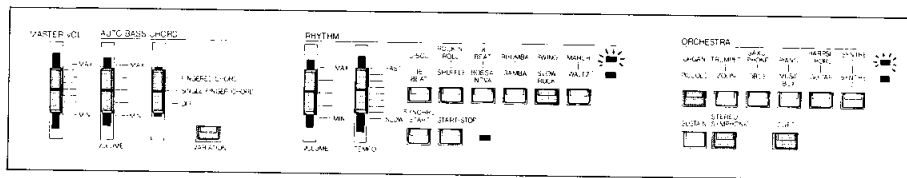
喜多郎作曲

日本音楽著作権協会 (出) 許諾第8472209-401号
 ©1980 by Japan Broadcast Pub. Co., Ltd. & S.O.P Inc.

★コードのおさえ方

イン・ザ・ムード IN THE MOOD

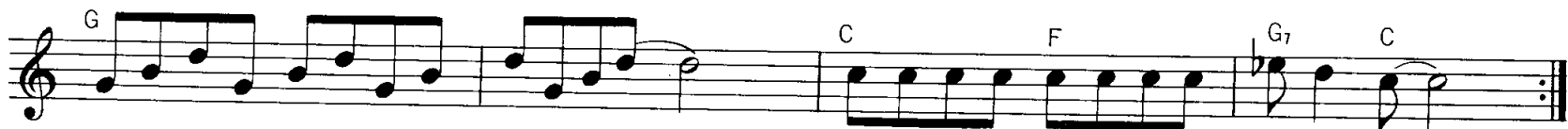
J. Garland 作曲



↓ VARIATION ON



[ORGAN]



Fine

↓ VARIATION OFF



D.C.

★コードのおさえ方

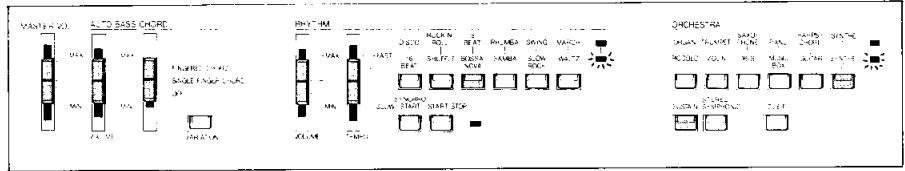


日本音楽著作権協会(出)許諾第8472203-401号

© Copyright 1939 and 1960 by SHAPIRO, BERNSTEIN & CO., INC., New York, N.Y., U.S.A.
 Rights for Japan controlled by Shinko Music Publishing Co., Ltd., Tokyo.
 Authorized for sale in Japan only.

ワインレッドの心

井上陽水作詞 玉置浩二作曲



BOSSANOVA

Am F Am F Am F

SYNTH2 VIOLIN

もっ とかっ てに — こい

Am F Am F Am F

し た りー — もっ と Ki - ss を — た の しん だ りー

Am Gm F Em F Dm

わ す れ そ う な お も い で を — そ っ と だ い て い る — — よ り — わ す れ て し ま え ば

E7 Am G Dm

— — い ま い — じ ゃう そ れ い じ ゃう あ い さ れ る の に —

F E7 Am E7 FILL IN Am G

あ な た は そ の — す き と お っ た ひ と み の — ま ま で — あ の き え そ う — に も え そ う な

Dm F E7 Am Dm Em A

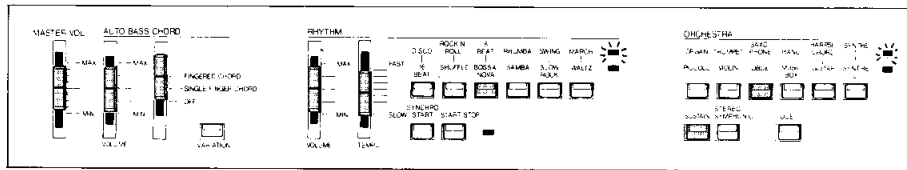
ワ イ ン レ ッ ド の — こ こ ろ を も つ — あ な た の ね が — い が — か な う の に —

★コードのおさえ方

日本音楽著作権協会(出)許諾第8472209-401号
 © Copyright 1984 by KITTY Music Corporation

マイ・ウェイ MY WAY

J. Revaux, C. Francois作曲 中島 淳訳詞



8BEAT C C Cmaj7 Em7⁵ A

SAXOPHONE

い まと ふなみ で かと ちかづ え く このと きふ くれ ふう

Dm Dm7 G7 C

とま たお たも ぜ みば わた の し はい ふり かい えで るを とおきみに たつ げよ

G7 F Fm C G7

てう あま る い わ た ぜに わ かく い こ ひと よを すき べて みの こ こ ろろ のの きき め た

1. F C 2. F C G7 VARIATION ON ↓ C

ま — ま に あい ま — ま に わ た し には あ い す

C7 F Dm7 G7

る う た が — あ る か ら し ん じ た こ の み ち を わ た し

Em Am Dm7 G7 F C

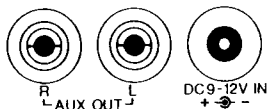
は ゆ く だ け す べ て は こ こ ろ の き め た ま — ま に

故障と誤まりやすい現象

現 象	原 因	解 決 法
パワースイッチを入れたとき、ポツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
パイロットランプが点滅する。	①電池がなくなりかかっているため。 ②音量が大きいとき、一時的に電圧が下がるため。	①すべて新しい電池と交換してください。 ②ご心配いりません。
音色セクターで選んだ音色とは別の音色がでる。	①上下の選択をしていない。 ②オートベースコードを使っているとき、オートベースコード用鍵盤部で弾いている。	①4ページの説明をお読みください。 ②オートベースコードを使っているとき、オートベースコード用鍵盤部の音色は選んだ音色と関係ありません。
鍵盤を同時に8音おさえても7音しかでない。また、オートベースコードを使っているとき、鍵盤を同時に4音おさえても3音しかでない。	音色は同時に7音までしかでないようになっています。また、オートベースコードを使っているときは3音、デュエットを使うと2音しかでないようになっています。	先におさえた音が優先します。
リズムの音がでない。	①スタートボタンがどちらもおされてない。 ②シンクロススタートボタンを押してオートベースコード用鍵盤部をおしていない。	①②③5ページの説明を読んで操作もれがないかどうか確認してください。
リズムセクターで選んだリズムとは別のリズムがでる。	①上下の選択をしていない。 ②フィルインがおされている。	①5ページの説明をお読みください。 ②フィルインをおすと、リズムは変化パターンに切りかわります。
オートベースコードの音がでない。または、リズムにのらない。	①オートベースコードスイッチがOFFの位置にある。 ②オートベースコード用鍵盤をおさえていない。 ③オートベースコードボリュームが最小になっている。 ④リズムがセットされていない。	①②③④6～9ページの説明を読んで、操作もれがないかどうか確認してください。
オートベースコードで伴奏しているとき、指を変えてもコードが変わらない。	オートベースコード用鍵盤を指を離さずに弾いているため。	コードを変えるときは、いちど鍵盤から指をはなすようにしてください。
デュエットの音がでない。	オートベースコードを使っていない。	デュエットはオートベースコードと連動しています。オートベースコードを使用してください。

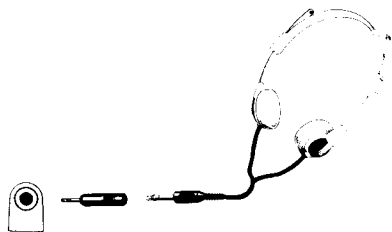
付属端子とオプション

PSS-450の本体背面には、図のような外部端子がついています。これらを活用すれば、PSS-450の楽しさはいっそう広がります。(ヘッドホンは左前にあります。)



① HEADPHONES端子

ヘッドホンを接続する端子で、ステレオ、モノラルどちらのタイプのヘッドホンでもご使用になれます。ヘッドホンを使うと、本体のスピーカーからは音が出ませんから、夜間でも周囲への迷惑を気にすることなく、心ゆくまで演奏をお楽しみいただけます。



② DC9-12V IN端子

家庭用コンセントから電源をとるときに使う端子です。専用アダプター〔PA-1〕を接続してください。

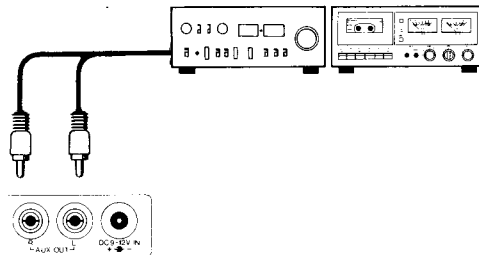
③ AUX OUT端子

A. より豊かな音量で。

PSS-450は、内蔵のスピーカーでも十分な音量でお楽しみいただけますが、ステレオなどのスピーカーから音を出したいときは、この端子を使います。ステレオなどのLINE INジャックに接続してください。より迫力あるサウンドが楽しめます。

B. 演奏を録音

PSS-450の演奏を録音したいときは、このAUX OUT端子を使って、テープデッキのLINE INジャックに接続してください。録音レベルは、テープデッキで調整できます。



④ PITCHコントロール

本体裏面に、音程を微妙に調整できるピッチコントロールがついています。(±50セント変化します)

他の楽器とアンサンブルする時などに便利です。



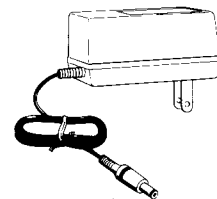
オプション(別売)

●ライトウエイトヘッドホン〔YH-50〕¥5,000

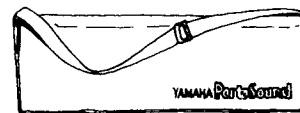


●電源アダプター〔PA-1〕¥2,000

AC100V(家庭用コンセント)から、DC12Vを取り出す電圧変換器です。本体の〔DC9V-12V IN〕へ電源を供給します。



●専用ソフトケース〔S-7〕¥4,000



仕様

●鍵盤

ミニ鍵盤49鍵 (C1～C5)

●オーケストラ

〈音色セレクター〉

上/下表示ランプ

オルガン/ピッコロ

トランペット/バイオリン

サクソフォン/オーボエ

ピアノ/ミュージックボックス

ハーブシコード/ギター

シンセ1/シンセ2

〈音色コントロール〉

サステイン

ステレオシンフォニック

デュエット

●リズム

〈リズムセレクター〉

上/下表示ランプ

ディスコ/16ビート

ロックンロール/シャッフル

8ビート/ボサノバ

ルンバ/サンバ

スウィング/スローロック

マーチ/ワルツ

〈リズムコントロール〉

シンクロスタートスイッチ

スタート/ストップスイッチ

テンポコントロール

テンポランプ

リズムボリューム

フィルインスイッチ

●オートベースコード

オートベースコード切換えスイッチ

〈オフ/シングルフィンガーコード/フィンガードコード〉

バリエーションスイッチ

オートベースコードボリューム

●その他のコントロール

パワーオン/オフスイッチ

パイロットランプ

マスターボリューム

ピッチコントロール

●メインアンプ

1.4W × 2 (8Ω 負荷)

●スピーカー

9cm (8Ω × 2)

●定格電源

DC9V：単2乾電池6個

電源アダプター

(PA-1)

●消費電力

電源アダプター (PA-1) 使用時

：5.0W

電池使用時：3.0W

電池寿命：通常演奏で連続10時間以上

●付属端子

HEADPHONES JACK

DC9-12V IN JACK

AUX OUT L JACK

AUX OUT R JACK

●寸法・外装

本体材質：スチロール樹脂

間口 622mm

奥行 213mm

高さ 69mm

重量 2.5kg (乾電池重量含まず)

●付属品

単2乾電池6個

サービスのご依頼は、お買い上げ店へ直接お申し付けください。

■本機の保証は、保証書によりご購入日から満1年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。(日本国内のみ有効)

■保証期間の1年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービス網宛お問い合わせください。

■お買い上げ店による修理調整

故障の場合は、直接お買い上げ店にお持ち込みください。責任を持って修理調整をいたします。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”と思われましたら、まず本書の“故障と誤りやすい現象”の項をいま一度お読み頂き、お確かめください。(ご依頼をお受けして点検いたしますと故障でない場合でも点検代を申し受けますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、ご住所、電話番号をハッキリお知らせください。また勤めて昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(楽器の具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならないようなときにお客さまにご迷惑をおかけしないですみます。)

YAMAHA 電音サービスセンター

全国のヤマハ特約店と下記電音サービスセンターが責任をもってアフターサービスを行っております。

〔修理受付および修理品お預り窓口〕

北海道 〒065 札幌市東区本町1条9-3

TEL(011)781-3621

仙 台 〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F

TEL(0222)36-0249

東 京 〒211 川崎市中原区木月1184

TEL(044)434-3100

新 潟 〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F

TEL(0252)43-4321

浜 松 〒432 浜松市東伊場2-13-12

TEL(0534)56-9211

名古屋 〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2

日本楽器名古屋流通センター TEL(052)652-2230

大 阪 〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内

TEL(06)877-5262

四 国 〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内

TEL(0878)51-7777 (0878)22-3045

広 島 〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39

TEL(082)874-3787

九 州 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4

TEL(092)472-2134

本社

営業技術課 電音サービスセンター 〒430 浜松市中沢町10-1

TEL(0534)65-1111

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

本 社 / 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL.0534(65)1111

東京支店 / 〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル
TEL.03(572)3111

大阪支店 / 〒542 大阪市南区南船場3-12-9/心齋橋プラザビル東館
TEL.06(251)1111

名古屋支店 / 〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL.052(201)5141

九州支店 / 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL.092(472)2151

北海道支店 / 〒064 札幌市中央区南十条西1-4/ヤマハセンター
TEL.011(512)6113

仙台支店 / 〒980 仙台市大町2-2-10/住友生命仙台青葉通ビル
TEL.0222(22)6141

広島支店 / 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
TEL.082(244)3744

浜松支店 / 〒430 浜松市鍛冶町321-6
TEL.0534(54)4116

